

評価書（事務局案）の補足説明

I 平成 27 年度の業務実績評価について（1 ページ）

「公立大学法人長岡造形大学 業務実績評価（年度評価）実施要領」を記載。

II 評価結果

1 全体評価（2、3 ページ）

後述の「2 大項目別評価」及び「3 事業単位・指標単位評価」などを総合的に勘案し、「中期計画の進捗は順調である」と評価した。

2 大項目別評価（4～12 ページ）

○A評価（中期計画の進捗は順調）

「研究」、「地域貢献」、「自己点検・評価、情報公開」

○B評価（中期計画の進捗は概ね順調）

「教育」、「国際交流」、「業務運営」、「財務」、「その他業務」

○判断基準

大項目を構成する事業単位・指標単位項目に対する a 評価の数で単純に判断するのではなく、事業単位と指標単位の両面から大項目全体を総合的に勘案して評価した。

3 事業単位・指標単位評価（13～32 ページ）

前回、法人から示された「業務実績報告書」の右側に、事務局の評価とコメントを付した。

なお、法人の自己評価と事務局の評価が異なる箇所は、無かった。

その他

前回の委員会で出された委員からの意見については、以下のように評価に反映した。

- ・ 13 ページの No. 2（大学院の具体的なカリキュラム改革の検討）

学部の延長線上か、あるいは社会のニーズに応えるかで大学院改革の方向性は異なってくると考えられることから、今後の学内の議論に期待するとのコメントを付した。

- ・ 17 ページの No. 22（教員の配置）

教員のほかに非常勤講師を採用し、教育水準の向上に努められているところであるが、併せて教員の負担軽減に向けた検討も進められるようにとのコメントを付した。

- ・ 27 ページの No. 58（学生に対する海外留学支援策の検討）

学生にとって実効性が高い長期的な留学の増加策に取り組まれるようにとのコメントを付した。